

- 問1 聖徳太子が「十七条の憲法」を制定した目的やその内容についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 武士同士の領地争いを裁くための公平な基準を定め、鎌倉幕府の支配を安定させるため | 2. 唐の法律にならって、全国の土地と人民を国家が直接支配する公地公民の制を確立するため | 3. キリスト教の布教を制限し、有力な大名による貿易の独占を禁止して幕府の権威を高めるため | 4. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、争いを避けて天皇の命令に従う体制を整えるため |
|--|--|---|---|
- 問2 7世紀の日本の出来事をまとめた歴史の年表において、聖徳太子が小野妹子らを中国の隋へ派遣したという記述があります。この時、進んだ制度や文化を日本に持ち帰ることを目的として派遣された使節の名称を答えなさい。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|--------|--------|
| 1. 遣隋使 | 2. 朝鮮通信使 | 3. 遣唐使 | 4. 遣明使 |
|--------|----------|--------|--------|
- 問3 聖徳太子が定めた十七条の憲法の第一条には、「和をもって貴しとなす」という言葉が記されています。この言葉をあえて第一条に掲げ、役人の心得として強調した当時の政治的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|--|-----------------------------------|
| 1. 外国の思想を排除し、日本独自の伝統的な神道を国家の柱とするため | 2. 武士が土地を巡って争うことを禁止し、幕府による全国支配を確実にするため | 3. 有力な豪族同士の対立を抑え、天皇を中心とした国家体制を構築しようとしたため | 4. 身分制度を厳格にし、農民が領主に対して反抗することを防ぐため |
|------------------------------------|--|--|-----------------------------------|
- 問4 聖徳太子が、十七条の憲法の中で「あつく三宝を敬え」と記すなど、政治に仏教を積極的に取り入れた目的として最も適切な説明を選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 寺院を軍事的な拠点として整備し、対立する豪族を武力によって制圧するため | 2. 大陸から移り住んできた渡来人の勢力を弱め、古来の日本の神々への信仰を独占するため | 3. 仏教を精神的な支えとすることで、豪族を団結させ、天皇を中心とした国家体制を安定させるため | 4. 仏教の教養を役人の採用基準とするため、中国の「科挙」の制度を完全に模倣するため |
|--|---|---|--|
- 問5 7世紀半ばの朝鮮半島は、北部の高句麗、東部の新羅、南西部の百済が対立していました。白村江の戦いにおいて、日本が支援した国と、日本が戦った連合軍の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|
| 1. 支援した国：高句麗、連合軍：隋・新羅 | 2. 支援した国：新羅、連合軍：唐・百済 | 3. 支援した国：百済、連合軍：唐・新羅 | 4. 支援した国：百済、連合軍：高句麗・新羅 |
|-----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|
- 問6 飛鳥時代から奈良時代にかけての政治体制の変化において、中大兄皇子（天智天皇）が行った政策のうち、日本最古の戸籍とされる「庚午年籍」の作成や、本格的な法令の編纂が目指された主な理由は、当時の東アジア情勢とどのように関わっていますか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 唐や新羅の侵攻に備え、徴兵や徴税を確実に実行する強力な中央集権体制を作るため | 2. 蝦夷（東北地方）の開拓を進めるため、有力な農民に土地の永久私有を認めるため | 3. 百済を滅ぼすために、地方の豪族に領地の拡大を認めて軍事を強化するため | 4. シルクロードを通じた国際交流を促進し、仏教を全国に広めるため |
|---|--|---------------------------------------|-----------------------------------|
- 問7 佐賀県にある「基肆城跡」などの山城は、663年に日本が唐・新羅の連合軍に敗れたことを背景に、本土への侵攻に備えて築かれました。この敗戦後に九州の防衛を強化するために取られた措置として、最も適切なものはどれか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 博多湾の沿岸に石築地（石積み）を築いて防備を固めた | 2. 東国から兵を徴用し、防人として九州北部に配置した | 3. 太宰府を廃止し、政治の拠点をすべて平安京に移した | 4. 武士に命じて、元の軍勢を追い返すための防衛線を敷いた |
|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
- 問8 飛鳥時代、法隆寺の建立など仏教を中心とした国づくりを進めた聖徳太子は、中国大陸を統一した王朝へ使節を派遣しました。この使節の名称と、その代表として派遣された人物の正しい組み合わせを選んでください。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------------|-------------|-------------|
| 1. 遣隋使 — 小野妹子 | 2. 遣唐使 — 小野妹子 | 3. 遣唐使 — 鑑真 | 4. 遣隋使 — 鑑真 |
|---------------|---------------|-------------|-------------|
- 問9 大宝律令が制定されたことによる政治の変化について、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 室町幕府が新しい政治の方針を示すために、鎌倉時代の慣習を基にした独自の法典を定めた。 | 2. 天皇の命令を文書にする役所や図書の管理を行う役所が設置されるなど、大陸の進んだ政治制度が取り入れられた。 | 3. 氏姓制度を廃止し、地方の豪族が持っていた私有地と私有民をすべて国が直接支配する公地公民制が完了した。 | 4. 武士が領地を支配する上での基準を示すため、裁判の公平さを期する仕組みが初めて全国的に整備された。 |
|---|---|---|---|
- 問10 663年に朝鮮半島の西南部の海域で発生した「白村江の戦い」とその後の日本の動向について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|---|
| 1. 元の軍勢を暴風雨の助けを借りて退け、これを機に武士の力が強まった | 2. 女真族の侵入をきっかけに、朝廷は遣唐使の派遣を完全に停止した | 3. この戦いに勝利したことで、日本は朝鮮半島南部での影響力を強めた | 4. 唐・新羅の連合軍に敗れた後、唐の侵攻に備えて防人や烽（とぶひ）を配置した |
|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|---|
- 問11 1世紀から7世紀初めにかけて、古代の日本（倭）が中国の各王朝と行った外交について、出来事が起きた時期が古いものから順に正しく並んでいるものはどれか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 奴国の王が後漢から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される → 卑弥呼が魏から金印を授かる | 2. 奴国の王が後漢から金印を授かる → 卑弥呼が魏から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される | 3. 卑弥呼が魏から金印を授かる → 奴国の王が後漢から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される | 4. 小野妹子が遣隋使として派遣される → 奴国の王が後漢から金印を授かる → 卑弥呼が魏から金印を授かる |
|---|---|---|---|
- 問12 7世紀の東アジア情勢と日本国内の政治的な動きについて、時系列に沿った記述として正しい組み合わせはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗れた後、その後の混乱の中で壬申の乱が起こり、勝利した天武天皇が即位した | 2. 天武天皇が律令国家の基礎を築いた後、その強力な軍力を用いて百済を救うために白村江の戦いへ出兵した | 3. 聖徳太子が十七条の憲法を定めて中央集権化を完了させたため、日本は白村江の戦いで唐に勝利することができた | 4. 唐が滅亡して東アジア情勢が安定したため、日本は天武天皇のもとで軍備を縮小し、仏教文化の興隆に専念した |
|--|---|--|---|
- 問13 645年に始まった政治改革の資料において、中大兄皇子や中臣鎌足が蘇我氏を打倒し、新たな政治体制を築こうとする記述が見られます。この一連の改革によって日本で初めて元号が導入された背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 蘇我氏が代々使用してきた独自の暦を廃止し、仏教の教えに基づいた新しい時間管理を行うため。 | 2. 有力な豪族たちが交代で元号を決める権利を持つことで、貴族政治の安定を図るため。 | 3. 中国の唐に対して完全な服従を誓い、唐と同じ元号を使用することで安全保障を得るため。 | 4. 天皇が国の主権者として時間を支配するため、日本は天武天皇のもとで配することを示し、中央集権国家の威信を内外に宣言するため。 |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、争いを避けて天皇の命令に従う体制を整えるため	当時の政治は有力な豪族たちの連合体のような性格が強く、しばしば対立が起きていました。聖徳太子は、仏教や儒教の思想を背景に「和」の精神や「天皇の命令への服従」を説くことで、豪族を天皇に仕える「役人」へと変貌させ、中央集権的な国家をつくる基盤を固めようとしていました。
問2	答え 1 遣隋使	聖徳太子は推古天皇の摂政として、当時中国を統一していた隋の進んだ制度や文化を積極的に取り入れることで、天皇中心の国づくりを進めようとしていました。この目的のために派遣された使節が遣隋使であり、小野妹子がその代表的な人物として知られています。
問3	答え 3 有力な豪族同士の対立を抑え、天皇を中心とした国家体制を構築しようとしたため	古墳時代から飛鳥時代にかけては、蘇我氏と物部氏の対立に代表されるように、有力な豪族が勢力争いを繰り返していました。聖徳太子は、官僚としての道徳規範を示すことで豪族たちをまとめ上げ、天皇の命令に従う官僚機構を作り上げることを目的としていました。
問4	答え 3 仏教を精神的な支えとすることで、豪族を団結させ、天皇を中心とした国家体制を安定させるため	当時の日本は有力な豪族たちが勢力争いをしており、国家としてのまとまりに欠けていました。聖徳太子は、共通の信仰対象として仏教を広めることで、豪族たちの対立を解消し、中央集権的な国家を作り上げるための精神的基盤にしようと考えました。これは、冠位十二階や十七条の憲法といった制度改革とも連動した動きです。
問5	答え 3 支援した国：百済、連合軍：唐・新羅	当時の東アジアでは、中国大陆を統一した唐が勢力を拡大しており、朝鮮半島では新羅が唐と結んでいました。日本は古くから交流のあった百済の復興を助けるために参戦しましたが、唐と新羅の強力な連合軍に敗れました。
問6	答え 1 唐や新羅の侵攻に備え、徴兵や徴税を確実に 行える強力な中央集権体制を作るため	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、中大兄皇子は対外的な危機感から国防を強化する必要に迫られました。戸籍の作成や都の遷都（近江大津宮）は、国内の人的・物的資源を天皇が直接把握し、国全体を一つの組織として管理することで、外国からの侵攻に耐えうる強い国を作るという目的がありました。
問7	答え 2 東国から兵を徴用し、防人として九州北部に 配置した	白村江の戦いで大敗した日本は、唐や新羅の軍勢が日本に攻めてくることを恐れました。そのため、九州の太宰府の守りを固めるために「水城」や「山城」を築き、さらに東国から徴用した農民を「防人（さきもり）」として九州北部の警備にあたらせました。これらはすべて、白村江の戦い後の緊張感の中で行われた防衛政策です。
問8	答え 1 遣隋使 ― 小野妹子	聖徳太子が推古天皇の摂政として政治を行っていた7世紀初め、中国を統一していた王朝は隋です。太子は、大陸の高度な文化や制度を取り入れるため、607年に小野妹子を使節として派遣しました。鑑真は奈良時代に唐から日本へ渡った高僧であり、時代や背景が異なります。
問9	答え 2 天皇の命令を文書にする役所や図書の管理を 行う役所が設置されるなど、大陸の進んだ政 治制度が取り入れられた。	大宝律令の制定により、唐の官制を模した二官八省という中央官庁の仕組みが整えられました。天皇の秘書的な役割を果たす役所（中務省）や図書を管理する役所（図書寮）などが置かれ、法に基づいた組織的な政治運営が行われるようになりました。
問10	答え 4 唐・新羅の連合軍に敗れた後、唐の侵攻に備 えて防人や烽（とびひ）を配置した	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北した日本は、大陸からの報復を強く警戒しました。そのため、九州の防衛のために防人を置き、急を知らせるための烽（のろし）のネットワークを整備しました。また、天智天皇は都を内陸の近江大津宮へ移すなど、国家の防衛と中央集権化を加速させました。選択肢にある元の侵攻（元寇）や女真族の侵入（刀伊の入寇）は、いずれも白村江の戦いよりも後の時代の出来事です。
問11	答え 2 奴国の王が後漢から金印を授かる → 卑弥呼が魏から金印を授かる → 小野妹子が遣隋使として派遣される	1世紀（紀元57年）に奴国の王が後漢の皇帝から金印を授かったのが最も古く、次に3世紀（239年）に邪馬台国の卑弥呼が魏から金印を授かりました。その後、飛鳥時代の7世紀初めに聖徳太子が小野妹子を隋へ派遣しており、この順番が歴史的事実に合致しています。
問12	答え 1 白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗れた後、 その後の混乱の中で壬申の乱が起こり、勝利 した天武天皇が即位した	歴史の因果関係を整理することが重要です。まず663年に白村江の戦いで敗北し、その戦後処理や国防強化を進めた天智天皇が没した後、672年に後継者争いである壬申の乱が発生しました。この乱を制した天武天皇が、敗戦による外圧を背景として、より強力な統治が必要であるとの認識から中央集権化を一気に加速させました。唐は当時、勢力を拡大していた最中であり、日本はその脅威に対抗するために国を固める必要があったのです。
問13	答え 4 天皇が国の主権者として時間を支配すること を示し、中央集権国家の威信を内外に宣言す るため。	元号の制定は、単なる年数の数え方の変更ではなく、その土地を支配する君主が時間をも支配するという「空間と時間の主権」を象徴する行為でした。大化の改新において中大兄皇子らが日本初の元号「大化」を定めたのは、それまで力を持っていた蘇我氏などの有力豪族を抑え、天皇を中心とした律令国家を形成しようとする強い政治的意志の表れです。